

津山中央病院へのアクセス道路整備を急げ

政津クラブ 高橋 誠



質問→津山中央病院へのアクセス道路、

河辺高野山西線の進捗状況と緊急性、優先度をどのように考えているか。

答弁→河辺地区については、平成十八年

度末時点で面積約七十%、地権者数約五十五%の測量立ち入りについて同意文書に署名、今年になって面積で約九十%、地権者数で約七十%の同意状況となった。この道路整備は本市のみならず圏域全体の課題、「しあわせ大國・津山」の実現のために全力で努力したい。

質問→中学校卒業までの義務教育児童の医療費無料化は、強い市民要望と子育て支援の基本的な柱、来年度の見通しはどうか。

答弁→県において補助内容見直しを検討中。これを踏まえ、子ども施策の中で他の子育て支援策と併せ、検討したい。

防災・弱者援護対策

津山誠心会議 田口慎一郎



質問→土砂災害警戒区域の避難体制の整備は。

答弁→情報伝達は、災害情報メール・防

災行政無線・既存の有線放送・各機関の専用車による広報などで伝達する。対象地区は優先して自主防災組織の設立を推進していく。

質問→自主防災組織の設立状況は。

答弁→年間十団体の設立を目標に取り組む。組織の育成にも取り組む。

質問→今、準備されている災害時要援護者対策の体制づくりはどうか。

答弁→自分で避難が困難な一人暮らしのお年寄りや深刻度の高い要援護者について、支援者をつけるなど、地域の関係団体が一致協力して安否確認や避難誘導などの支援ができるよう関係者と協議研究してより役立つものにする。

自然環境保護対策と行革について

公明党津山市議員 原 行則



質問→台風二十三号の風倒木の復旧は民

有林で約八十%と順調に進んでいるが、市有林、市行造林の復旧は遅れている

のでは。

答弁→被害地が最寄の道路から離れた奥地であり、作業用道路をつけるのも困難な場所であるため遅れている。

質問→鶴山の桜、ウッドパーク声ヶ嶋、黒木ダム湖畔の桜などの天狗果病対策はできているか。

答弁→毎年冬季に病気の枝を切除し対策に努めている。今後とも桜の活性化に努めてゆく。

質問→行革も加速するために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に先駆けて外部監査を導入してはどうか。

答弁→運用に多額の経費を要し、その他課題もあるので慎重に研究する。

小学校の給食センター化は時代に逆行!

市民と歩む会 秋久 憲司



質問→新学校給食センターは、中学校給食だけのはずが、いつのまにか小学校

七校も含め、岡山県下最大の六千食を作るセンターとなっている。新給食センターは、総合計画通り、旧市内の五中学校を対象として実施し、小学校は各学校で給食が作られており地産食材の利用促進、地域との連携などが進むよう保護者、関係者の意見集約を図りながらの現状実施が良い。加茂・勝北・久米の給食センターなどを第二センターとし数年のうちに取り壊すというが総合計画の裏付けがないのでは。

答弁→小学校七校にはそれぞれの課題がありセンター化は先延ばしできない。第二センターは老朽化が進むので教育委員会の検討課題としている。